

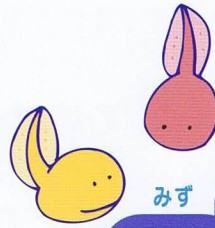


みどり
水土里ネット

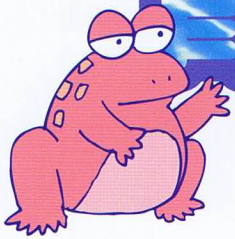
筑波嶺を超えて
大地を潤す



かすみがうら



みず



霞ヶ浦と水 のおはなし

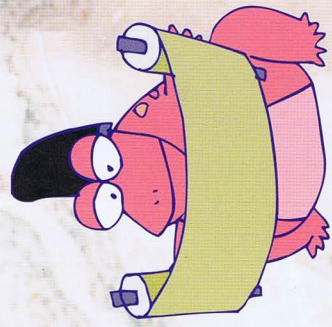


ゆた みず せい かつ
豊かな水生活のなりたち



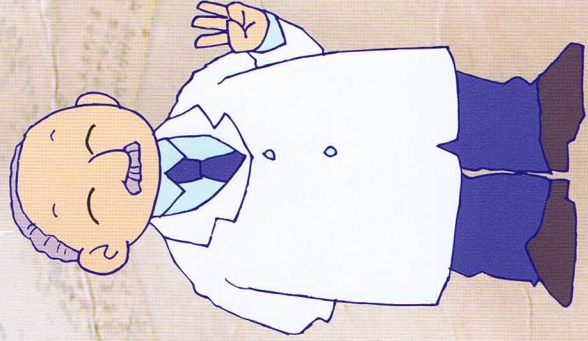
水と台地にきざまれた歴史の数々

歴史を振り返ってみると、利根川や霞ヶ浦周辺は塩害や洪水でたびたび悩まされました。人々はどんな工夫をしてどんな風に生きてきたのでしょうか。わたしたちの住むこの地にいた、歴史に名を残す人々の活躍を見てみましょう。



このほかにも偉い人がたくさん活躍しておるのじゃが今日は3人だけ紹介しよう。

どんな活躍をしたのかな？



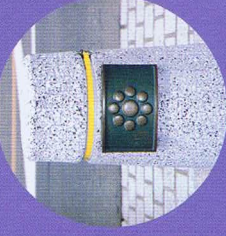
平将門

●延喜3年(903年)～天慶3年(940年)

桓武天皇の子孫として豊田館で誕生したといわれています。下総国猿島、豊田、相馬郡を相続しましたが、おじの国香と長兼が領地を侵略したため、将門は承平5年(935年)に国香を倒しました。この一門の争いをきっかけに、常陸国(茨城県)、下野国(栃木県)、上野国(群馬県)の国府を襲撃し、自らを新皇と称し板東にその名をとどろかせました。しかし天慶3年(940年)、38才で平貞盛に討たれました。

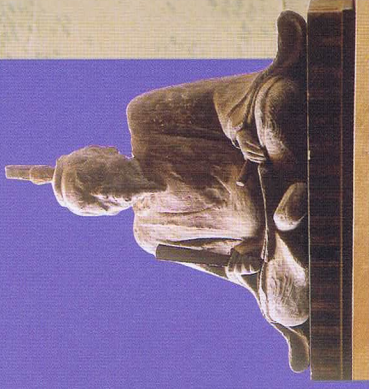


●ベルフォールにある騎馬像。



●車止めにも将門の家紋が。

平将門の戦死の地である岩井市には将門にちなんたものを見ることができません。



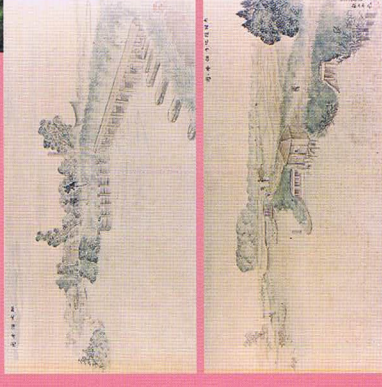
●國王神社の座像。

伊奈忠次(備前守)

●天文19年(1550年)～慶長15年(1610年)

伊奈忠次は、治水や灌漑事業などで活躍した江戸時代初期の幕臣です。天文19年(1550年)、三河国播磨郡に生まれました。後地や河川改修などに重要な役割を果たしました。伊奈忠次の土木事業の方式は「伊奈流」「関東流」と呼ばれています。その工法は、毎年のように起こる程度の出水は堤防によって防ぎ、大洪水の時には堤防を越える水を遊水池にためて被害を少なく抑えるというものでした。

●旧水戸街道の入り口に立つ伊奈忠次の銅像。



●絵に描かれた関東流の川の様子です。上は竹洗せき、下は古利根せきです。(高田用水路土地改良区記念館蔵)

みんな茨城県で活躍したんだね。



井沢弥惣兵衛為永

●寛文3年(1663年)～元文3年(1738年)

紀伊国(和歌山県)出身の江戸時代の水利技術者です。強固な堤防で川を直線にし、遊水池を干拓する、紀州流の工法をひたすら守り、12年(1727年)に着手した見沼の開発(埼玉県)は、長さ60kmにおよび掘り進めた見沼代用水に利根川の水を引き、周辺に水田を開くという大がかりなものでした。弥惣兵衛は飯沼三千町歩の干拓(茨城県)にもかかわり、この地域の開発に大きな功績を残しています。



●利根川から見沼代用水に水が流れてこんでいる様子を描いた明治時代の絵です。



●埼玉県大宮市の万年寺にある井沢弥惣兵衛為永の功績をたたえた碑です。

豊かな水と豊かな心を育みつづける筑波山

ゆたかな水と豊かな心を育みつづける筑波山

つくばさん

筑波山

筑波山

筑波山



美しい姿でそびえる筑波山。

筑波山はそこで生活する人々や訪れる人々の心の中に浸透し、さまざまな形で表現されています。古くは「常陸国風土記」や「万葉集」の中に霞ヶ浦や筑波山についての記述を見ることが出来ます。

筑波山や霞ヶ浦は多くの人に愛され豊かな文化を育んできたのじやよ。

われこそは つくばの山に みそまれて後世の世に この名を残さん…えっへん



『万葉集』

770頃(715?～785)編

日本最古の和歌集で、皇族や貴族の歌のほか、無名の民衆の歌や農民の歌も集められています。「万葉集」の中には筑波山を題材にした歌が多く詠まれています。太古の昔の人々が筑波山と共に生きていた様子を知ることが出来ます。

つくばねの 峰より落つる 男女川 恋ぞ積りて 淵となりぬる(万葉集)



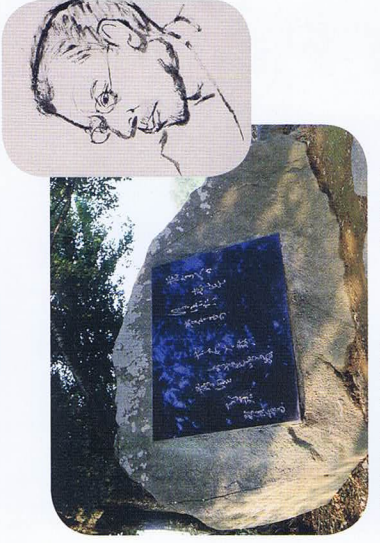
●桜川から見た春の筑波山です。

横瀬夜雨

明治11年(1878年)～昭和9年(1934年)

明治11年1月1日、下妻市横根の横瀬家の次男として生まれました。4歳のとき難病の“くる病”におかされ、不自由な体となりますが、詩歌に全力を傾け、「お才」・「神も仏も」など多数の作品を世に残し広く知られています。下妻が生んだ偉大な詩人です。

男女居てさへ 筑波の山に 霧がかかれば 寂しいもの



●横瀬夜雨の肖像画(右上)と横瀬夜雨の詩「やれだいに」を刻んだ詩碑(左下)です。

長塚節

明治12年(1879年)～大正4年(1915年)

結城郡国生村(石下町国生)の豪農の長男として生まれました。尋常中学校に首席で入学しましたが、神経衰弱のため退学。その後、正岡子規の弟子になり、「アララギ」派の歌人として活躍しました。小説「土」は日本の農民文学の代表作にあげられる名作です。

鬼怒川を 夜ふけてわたす 水棹の 運くきこえて 秋たけにけり



●長塚節の歌をつづった歌碑(左)と長塚節の生まれた家(上)です。

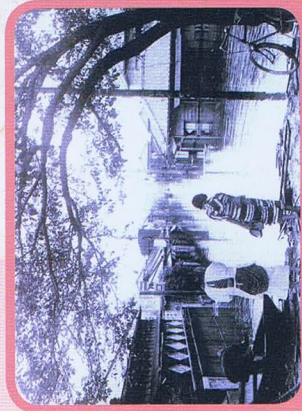
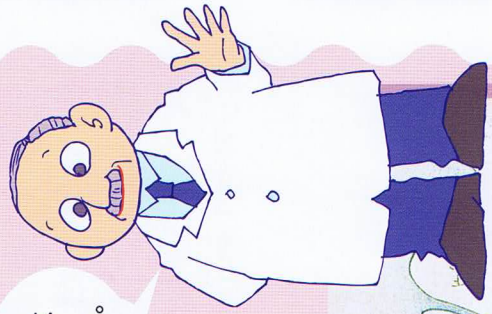
とびえたつ筑波山ものがたり

流れをかえ、姿をかえ、姿をかえた霞ヶ浦の今と昔

すがた かすみ がうら

かつて霞ヶ浦の水の出口である常陸利根川の水はけの悪さが原因で、大雨が降ると洪水の被害をもたらしました。常陸利根川のしゅんせつを行い水はけが良くなると今度は海の水が逆流し塩害による被害が深刻になりました。

昔と今とでは
おおちが
大違いじゃよ。



●洪水に襲われた日栄町（現在の桜町）



●小貝川の氾濫（1986年）

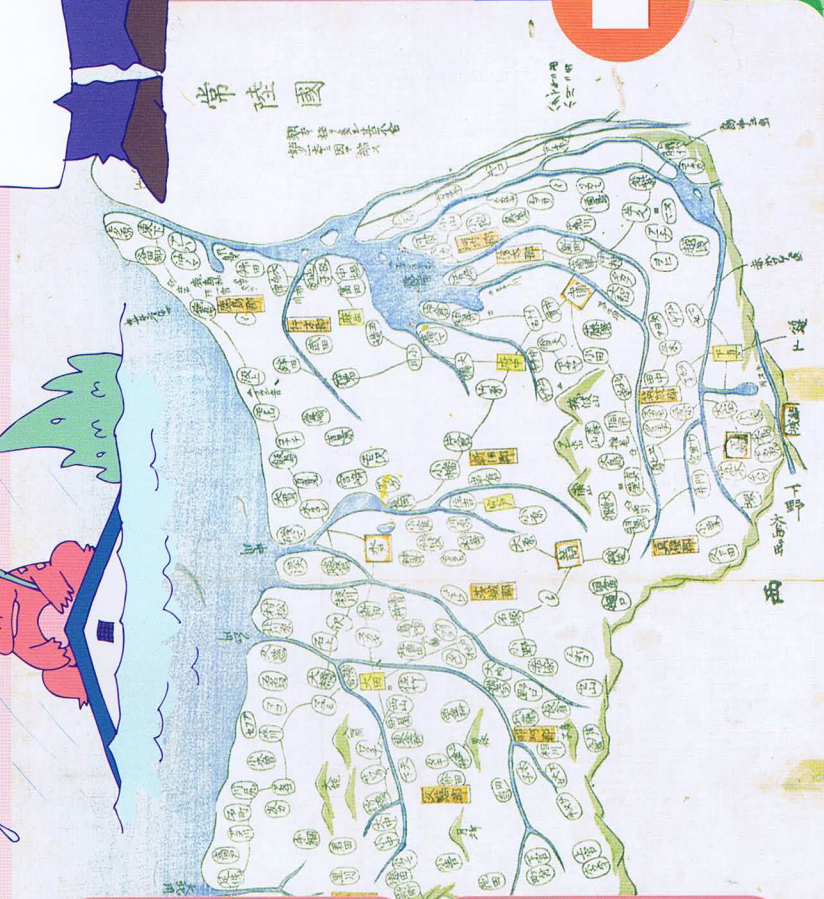


●足踏み水車（大正時代の風景）

水と共存する
のは大変だよ!!



●「大日本興地便覧」乾 天保五年（1834年）

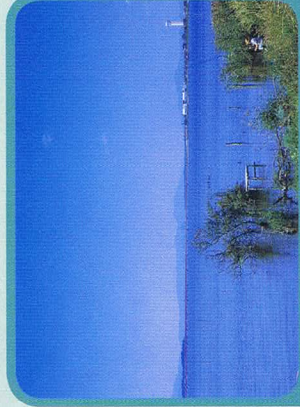


の今と昔

川の道を変えたり、干拓したり、堤防を作ったりとさまざまな工夫をしてきたことで、霞ヶ浦流域に洪水の被害をもたらすことは無くなりました。逆水門と呼ばれる「常陸川水門」が完成してからは、霞ヶ浦に海の水が逆流することが無くなったため、現在では塩害は起きなくなりました。



●日本で2番目に大きな湖、霞ヶ浦です。



●霞ヶ浦の水はいろいろな用途に利用されています。

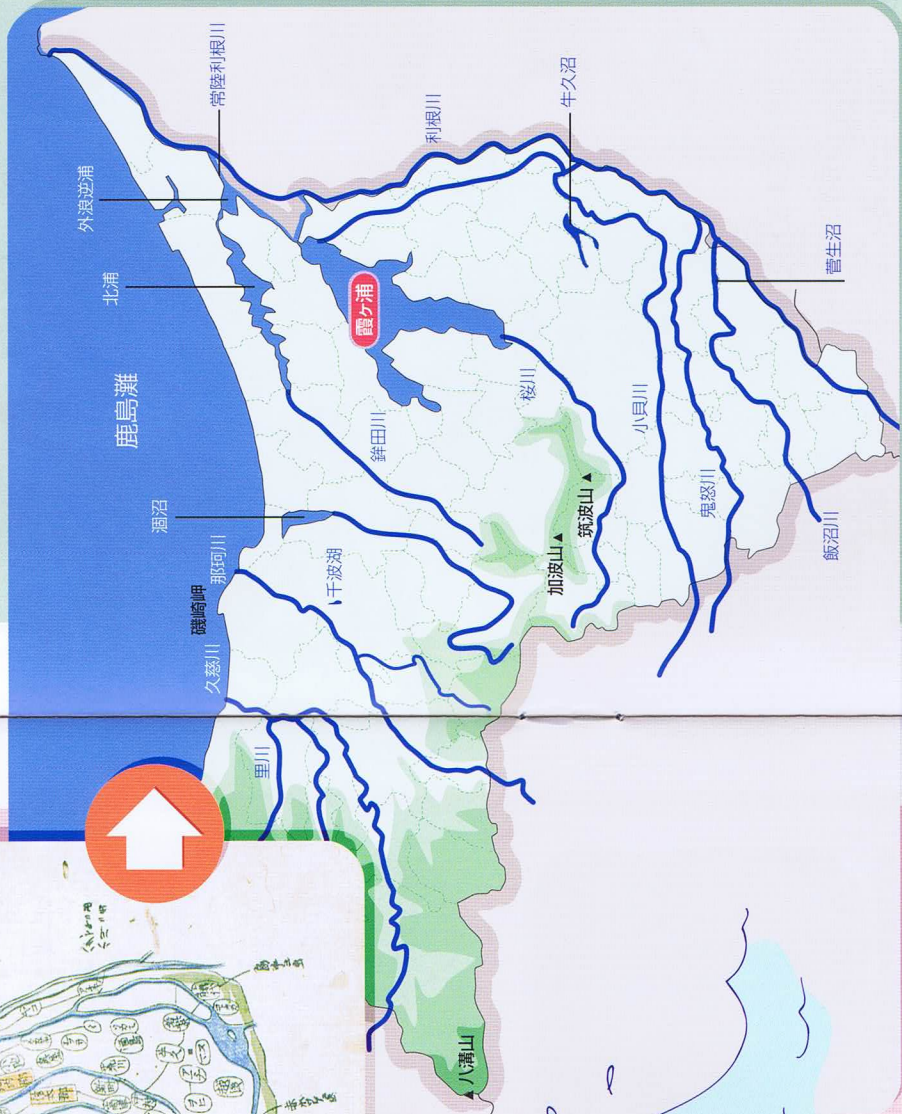


●「つくしこ」にみ上げられた水からみんなの所へ水を送ります。

塩害がおさなくなっ
て本
当によ
ったね。



ところが、その一方で、霞ヶ浦の、富栄養化という新たな問題が発生してしまっただけです。現在水質を良くするためのさまざまな試みがおこなわれています。



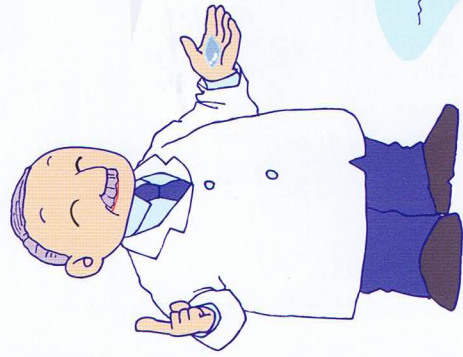
●現在の茨城県内の川の様子と霞ヶ浦



利根川水系の瀬替えものがたり

水は今そしてこれから...

ここでは「霞ヶ浦用水事業」という大切な仕組みについて知って欲しいのじゃ。



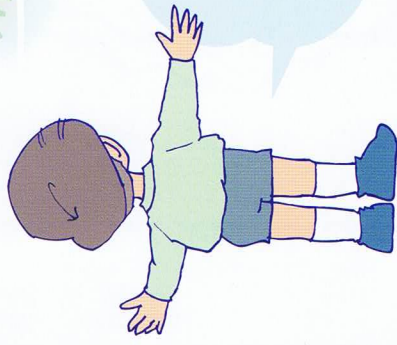
土地に恵まれているのに、水の不足に悩む

茨城県南西部の地域は、東京から75km圏内にある広大な優良農業地域です。しかし、平均降水量は約1,200mmと少なく、河川の水量も不安定で用水が不足し、しばしば干ばつの被害にあいました。またべつの土地では地下水をくみ上げすぎで地盤が沈下しているところもあり、新しい用水が必要で

「霞ヶ浦用水事業」が悩みを解決!

大きな湖「霞ヶ浦」にはいつもみなみと水が流れています。まず、この貴重な水を霞ヶ浦町牛渡の霞ヶ浦揚水機場からポンプを使ってくみ上げます。くみ上げた水は筑波山の中をトンネルで抜けて山の反対側にある「つくしこ」にたくわえます。そこからまたパイプを通して茨城県南西部で生活する人々の農業用水、水道用水、工業用水として、必要な水を運びます。この仕組みを作る事業が「霞ヶ浦用水事業」です。

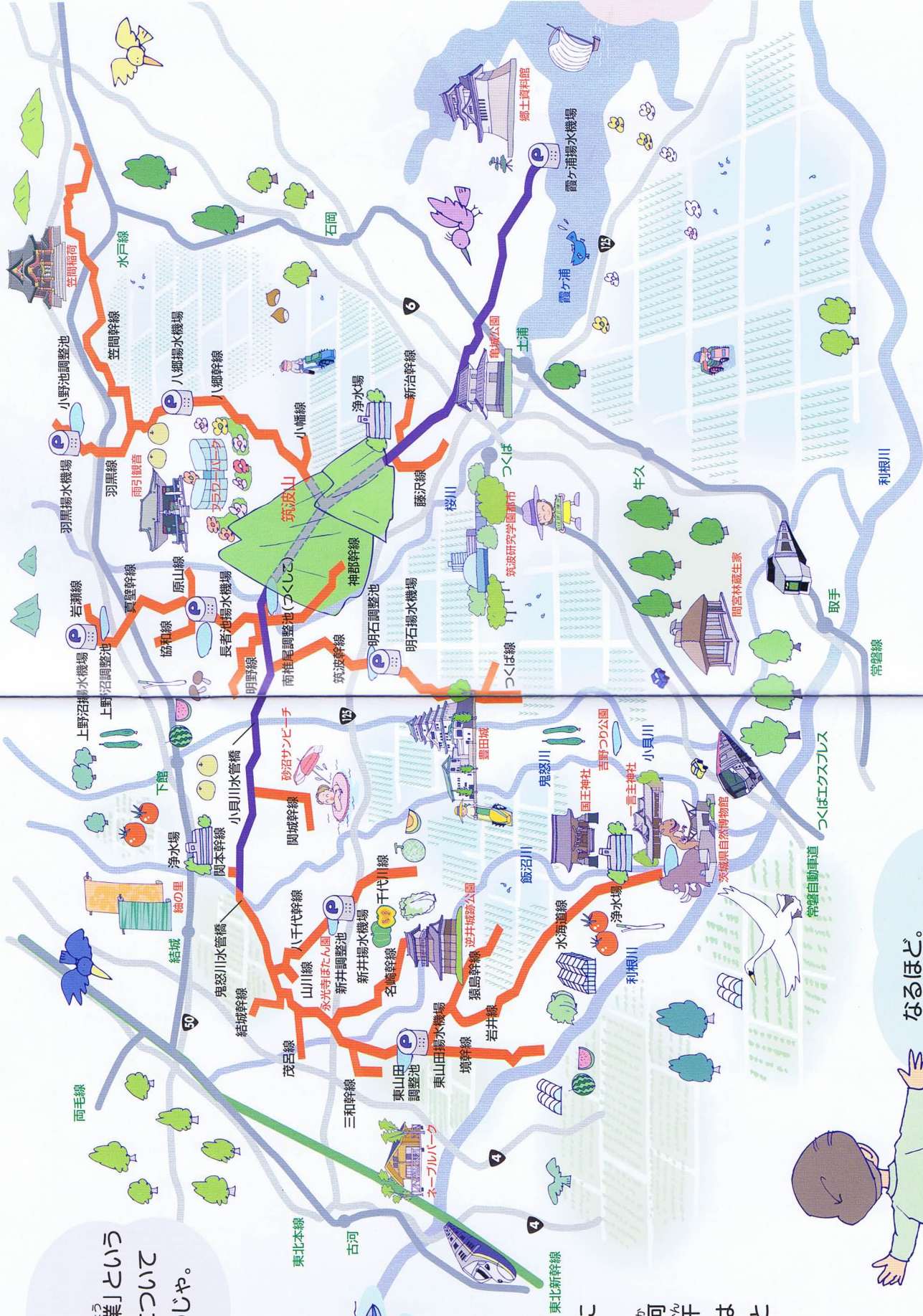
なるほど。これがいつでも水を使用できる仕組みなんだね。



この事業は昭和54年から始まり、昭和63年から一部の地域で用水が使われ始めました。今もそしてこれからも、みんなに水を安定して届けるために事業はつづけられています。

凡例(パイプライン)

 国営霞ヶ浦用水事業
 共用線(水資源機構)



● 鬼怒川をまたぐ水管橋です。川と交差するところでは、水を運ぶパイプが地表に出ているのを見ることができます。



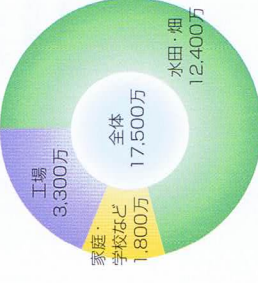
● 小貝川をまたぐ水管橋です。

みんなにとどく水の道

コラム

霞ヶ浦用水の水は何のため、に、また、どの位の水量が使われるのだろう?

■ 1年間に使われる水の量 (単位は立方メートル)



1年間に家庭・学校などで使われる水の量はつくしの貯水量の約35倍分 (1立方メートル=1³リットル)

全体の70パーセントを農業用水として使っているんですね。



● ここで霞ヶ浦用水の水の様子がわかります。



Kanto Agriculture
あすの食・農・緑を創る

[写真協力]

国土交通省国土地理院
茨城県農林水産部農地局
茨城県生活環境部
埼玉県立文書館
下妻市役所
坂東市役所
独立行政法人水資源機構
土浦市立博物館
下妻市ふるさと博物館
霞ヶ浦用水土地改良区
葛西用水路土地改良区



農林水産省 関東農政局
霞ヶ浦用水農業水利事務所

〒304-0061 茨城県下妻市下妻丙403-1
TEL.0296-43-5131 FAX.0296-43-5135

霞ヶ浦用水土地改良区

〒304-0021 茨城県下妻市北大宝219-8
TEL.0296-43-0085 FAX.0296-44-6680
<http://www.kasumi-lid.or.jp/>

